アンコンシャス・バイアス解消事業【徳島市】

個別事業費	522 千円
交付金額	261 千円

地域の実情と課題

国勢調査では、女性の就業者における年齢階級別の労働力(M字カーブ)の窪みが全国と比較して浅いほか、管理的職業従事者に占める女性の割合も全国平均より高いなど、女性の参画は比較的進んでいる。

一方で、市民意識調査における女性の働き方や家事の役割分担では、理想と現実が乖離するなど、性別による無意識の思い込みや固定的な性別役割分担意識は根強く残っており、意識啓発などを通じて、意識変革、行動変容につなげていく必要がある。

事業の特徴

アンコンシャス・バイアスに関する見識、実績が豊富な団体に講師を依頼し、特に、職場環境に影響力のある経営者や管理職に向けて、働く場における無意識の思い込みについて具体的な例を交えて話してもらった。

また、子どもの頃から性別による固定的な役割分担意識に捉われず、多様性を認め合う意識が育まれるよう、小・中学生を対象とした授業も実施。授業は2回に分けて行うことで、その間に自分の周りにあるアンコンシャス・バイアスを見つける宿題を出す等、自分事として意識してもらうようにした。

事業の効果

セミナー参加者数、参加者習熟度(実施アンケートにおける「男女共同参画に関する理解が深まった」との回答)が、ともに目標値を上回った。

また、セミナー参加者より「社内で共通言語となるよう発信していきたい」、「自分だけでなく、周囲にも伝えていかなければならない」といった感想があったほか、授業を受けた生徒から「家族で話し合うようになった」との感想があるなど、参加者だけでなく、その周囲にも広まっていくなど、事業実施による効果を感じている。

目的・目標

職場における性別に関する無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に気づくことで、誰もが働きやすい職場環境を整え、性別に関わりなく誰もが能力を最大限発揮できるよう、企業等の経営者や管理職、社員等をメインターゲットにセミナーを実施する。

	【目標】	【実績】
○セミナー参加者数	100人	→ 130人
○セミナー参加者習熟度	80%	→ 93.1%

連携団体

徳島市男女共同参画推進ネットワーク会議
(構成団体)
徳島大学、四国大学、徳島文理大学、徳島商工会議所、徳島県中小企業団体中央会、一般社団法人 徳島経済同友会、徳島県中小企業家同友会、株式会社 阿波銀行、株式会社 徳島大正銀行、徳島市コミュニティ連絡協議会、社会福祉法人 徳島市社会福祉協議会、NPO法人 子育て支援ネットワークとくしま、徳島市婦人連絡協議会、阿波女あきんど塾、徳島市まちづくり協働プラザ、徳島県、徳島市

今後の課題

幼少期の経験が価値観に強く影響するため、子どもの頃から多様性を認め合う意識が育まれるよう、アンコンシャス・バイアスについて学ぶ機会を充実させたいが、学校現場のカリキュラムや行事も膨大であることから、学校教職員向けのセミナーを重点的に行い、アンコンシャス・バイアスへの理解を深めてもらうことで、個別の授業ではなく、日常の学校生活の中でアンコンシャス・バイアスについて考えていける環境を整えることなども検討したい。

事業の概要

アンコンシャスバイアスセミナー

◆概要

誰もが働きやすい職場環境を整備し、性別に関わらず、個々の社員が能力を最大限発揮できるよう、職場における無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)をテーマにしたセミナーを実施。

◆メインターゲット

企業等の経営者や管理職、社員等

◆日時

オンライン開催 令和6年6月24日(月) 13:30~15:00 97人
オンデマンド配信 令和6年7月4日(木)~7月11日(木) 33人

◆参加者の感想

- 相手のことを考えて配慮しているつもりでも、それが思い込みからくるもので、過剰であったりするかもしれないことに気づいた。これからは相手と話し合い、相手の気持ちに寄り添った配慮をしていきたい。
- 決めつけや、押し付けによって可能性を狭めていたり、存在意義の否定につながったりすることがある。誰もがいきいきと活躍する職場環境を作りたい。

いま話題のテーマ!
アンコンシャスバイアスセミナー
~誰もが働きやすい職場をつくろう!~ 参加無料

6.24 13:30~15:00
オンライン開催 (Zoom)

講師: 太田 博子 (Hiroko Ota)

多様性を尊重する職場づくりの第一歩!

アンコンシャスバイアス授業

◆概要

アンコンシャスバイアスに気づき、性別に捉われない多様な選択肢につなげることを目的に、小・中学生を対象とした授業を実施。

◆実施校/対象学年/実施日

徳島市立八万中学校 1年生(6クラス) 令和6年9月24日(火)・10月1日(火)
徳島県立城ノ内中等教育学校 3年生(4クラス) 令和6年10月31日(木)・11月21日(木)

◆生徒の感想

- 「女の子だから」と言われることもあったが、これからは、性別で出来る出来ないを決めつけず、挑戦してみようと思った。
- 決めつけや先入観が自分や周りに及ぼす影響を知ることができてよかった。これからはすぐに決めつけず、一回考えてから発言していきたい。